



～地域と関わりながら～

今回のYCS通信では、主に地域交流や地域貢献活動の様子を紹介します。今年度も新型コロナウイルスの影響で直接的な交流の回数は減っていますが、地域の方々のご協力を得ながら、貴重な機会を大切にしながら交流しています。ゆり支援学校の良さ、児童生徒たちのがんばりを知ってもらえる機会となるよう、交流を続けていきたいと思っています。

小学部

ダンス教室

小学部では、ダンススタジオST Raysの高橋紗輪子先生を講師としてお招きし、ダンス教室を行いました。11月30日には高学年を、12月7日には低学年を対象として、楽しくダンスを教えてくださいました。事前をお願いしていた曲に、オリジナルの振り付けをしていただいたのですが、分かりやすい説明と紗輪子先生のかっこいいダンスのおかげで、少し難しい動きにも意欲的にチャレンジできました。どの児童もますますダンスが好きになり充実した時間となりました。



ブラウブリッツ秋田との交流

11月24日、ブラウブリッツ秋田の選手による高学年サッカー教室がありました。ワールドカップ開催中でサッカー熱が高まっており、選手のかっこいいパス、リフティングの手本に目を見張っていました。楽しい練習メニューでパスやドリブルに取り組み、最後に選手と触れ合いながら試合をして、汗をいっぱいかきながらサッカーを楽しんでいました。サッカーをするのは初めてだった児童たちも、サッカーの楽しさを知る素晴らしい機会になりました。



中学部

ヒップホップ教室

秋田市新屋のスタジオランニングマンの阿部歩先生をお招きして、ヒップホップダンス教室を4回行いました。阿部先生のかっこいいヒップホップダンスに生徒の目は釘付けに。左右の簡単なステップからボックス、ランニングマンなどの基本のステップを学びました。「歩先生みたいに踊ってみたい」という思いから、みるみるダンスが上達し、ゆりフェスティバルでは息の合った見事なヒップホップダンスを披露しました。普段の生活の中でもダンスを楽しんでいます。



こけし絵付け体験

中学部で11月9日、16日に本荘こけし作家の菅原修先生による「こけし絵付け体験」が行われました。先生から本荘こけしの由来やこけし柄についてのお話を伺ってから実際の絵付けに挑戦しました。

こけしは赤、緑、黒の3色を使い、面相筆という細い筆で顔や柄を塗っていきます。昨年度経験した生徒も、初めて体験する生徒も慎重に筆を動かし、夢中になって取り組みました。生徒それぞれに表情豊かで、きれいな柄の「世界で一つしかないこけし」を仕上げることができ、とても貴重な体験となりました。



高等部

「TDK野球部とのクリーンアップ&野球教室」

高等部3年生は、総合的な探究の時間にTDK野球部の選手と「TDK秋田総合スポーツセンター野球場」のクリーンアップと野球教室を行いました。前半のクリーンアップでは、清々しい秋晴れの中、グラウンドの除草作業と球場周辺の落ち葉拾いを4つのグループに分かれて行いました。生徒とTDK野球部の選手との会話も弾み、和やかな雰囲気で行われました。後半の野球教室では、心地よい汗をかきながらボールの握り方や投げ方、グローブやバットの使い方を丁寧に教えてくれました。上手にボールを投げたり、バットにボールが当たったりすると大きな歓声が沸いていました。

今回の交流を通して、様々な年代の人と協同して作業をしたり体を動かしたりすることの楽しさや達成感を得ることができ、とても貴重な機会となりました。



作業学習

そばちょこの納品と体験～石沢学校食堂～

高等部陶芸班では、10月12日に石沢学校食堂へ伺い、石沢そばをいただきました。今年の春、石沢学校食堂へそばちょこ40個を納品しました。そのそばちょこを実際に使用してみて、手触りや形、重さなどを確かめました。「真ん中がふくらんだ形だと持ちにくい」と気付いた生徒や、食堂の方にご意見を改善してほしいか、質問をする生徒もいました。

追加でそばちょこ40個のオーダーをいただき、気付いた改善点をもとに、より良い形を考えながら制作しています。



地域の皆様と直接触れ合う機会は少なくなりましたが、ゆり支援学校は地域交流・地域貢献活動を続けていきます。今後も地域の皆様に、本校児童生徒の自立と社会参加をサポートしていただくと幸いです。これからもよろしくお願いします。